

統計トピックスNo. 49

## 「<sup>う</sup>卯年生まれ」と「新成人」の人口

－ 平成23年 新年にちなんで －

(「人口推計」から)

# 卯年生まれは1008万人

# 新成人は124万人

総務省統計局では、新年を迎えるに当たり、平成23年1月1日現在における「<sup>う</sup>卯年生まれ」の人口と「新成人」の人口を推計しました。

### 要 約

#### I <sup>う</sup>卯年生まれの人口は1008万人

- 男性は490万人，女性は517万人
- 昭和26年生まれが最も多い
- 十二支の中では10番目

#### II 新成人人口は124万人

- 男性は63万人，女性は61万人
- 新成人人口は減少を続け，総人口に占める割合が初めて1%を割り込む

# I 卯年<sup>う</sup>生まれの人口は1008万人

## 男性は490万人，女性は517万人

平成23年1月1日現在における卯年<sup>う</sup>生まれの人口は1008万人で，総人口1億2736万人に占める割合は7.9%となっています。

男女別にみると，男性は490万人，女性は517万人で，女性が男性より27万人多くなっています。（表1，表2）

## 昭和26年<sup>う</sup>生まれが最も多い

卯年<sup>う</sup>生まれの人口を出生年別にみると，第1次ベビーブーム（昭和22年～24年）後の昭和26年<sup>う</sup>生まれ（平成23年中に60歳になる人）が186万人で最も多く，次いで，第2次ベビーブーム（昭和46年～49年）直後の昭和50年<sup>う</sup>生まれ（同36歳になる人）が183万人となっています。（表2，図2）

## 十二支<sup>う</sup>の中では10番目

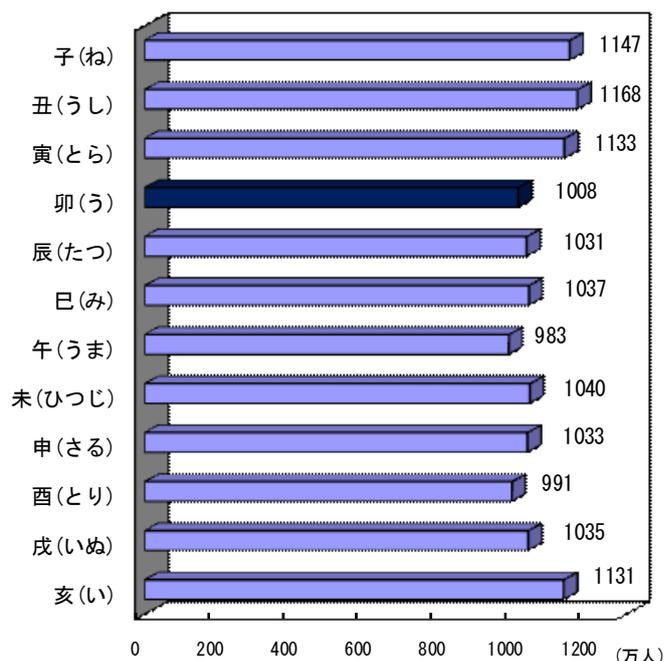
総人口を十二支<sup>う</sup>別にみると，丑年<sup>うし</sup>生まれが1168万人で最も多く，子年<sup>ね</sup>（1147万人），寅年<sup>とら</sup>（1133万人）と続いており，卯年<sup>う</sup>生まれは10番目となっています。

（表1，図1）

表1 十二支別人口

十二支	人口 (万人)	総人口に 占める割合 (%)	人口 順位
総数	12736	100.0	—
子(ね)	1147	9.0	2
丑(うし)	1168	9.2	1
寅(とら)	1133	8.9	3
卯(う)	1008	7.9	10
辰(たつ)	1031	8.1	9
巳(み)	1037	8.1	6
午(うま)	983	7.7	12
未(ひつじ)	1040	8.2	5
申(さる)	1033	8.1	8
酉(とり)	991	7.8	11
戌(いぬ)	1035	8.1	7
亥(い)	1131	8.9	4

図1 十二支別人口



（注）十二支別人口は，1月1日現在の推計のため，平成23年<sup>う</sup>生まれの卯年の人は含まれない。

図2 男女、出生年別<sup>う</sup>卯年生まれの人口

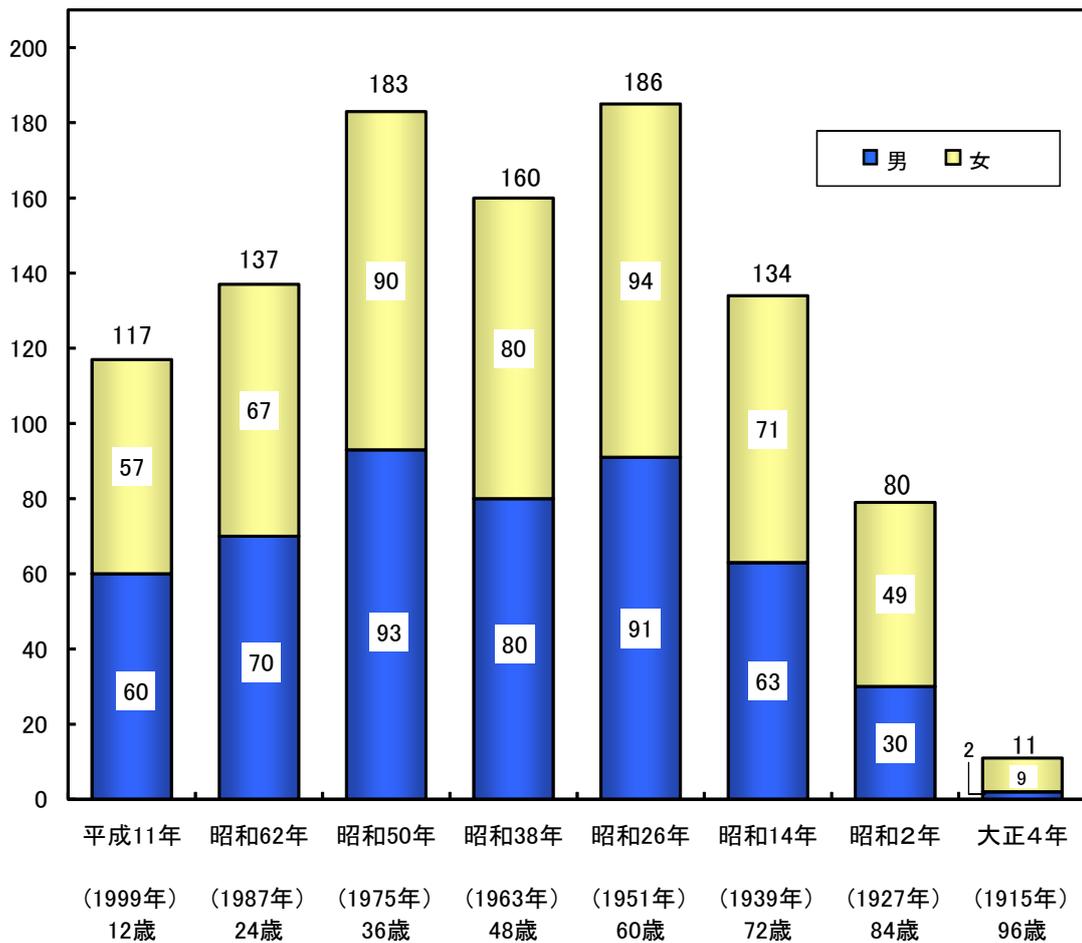


表2 男女、出生年別<sup>う</sup>卯年生まれの人口

生まれた年・年齢		男女計 (万人)	総数に占める割合 (%)	男		女	
				(万人)	総数に占める割合 (%)	(万人)	総数に占める割合 (%)
総数	—	1008	100.0	490	100.0	517	100.0
平成11年 (1999年)	12歳	117	11.6	60	12.3	57	11.0
昭和62年 (1987年)	24歳	137	13.6	70	14.3	67	12.9
昭和50年 (1975年)	36歳	183	18.2	93	19.0	90	17.5
昭和38年 (1963年)	48歳	160	15.9	80	16.4	80	15.4
昭和26年 (1951年)	60歳	186	18.4	91	18.6	94	18.2
昭和14年 (1939年)	72歳	134	13.3	63	12.8	71	13.8
昭和2年 (1927年)	84歳	80	7.9	30	6.2	49	9.5
大正4年 (1915年)	96歳	11	1.1	2	0.5	9	1.7

\* 数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。  
 \* 図及び表中の年齢は、平成23年に誕生日を迎えた時の年齢

## II 新成人人口は124万人

**男性は63万人，女性は61万人**

この1年間（平成22年1月～12月）に，新たに成人に達した人口（平成23年1月1日現在20歳の人口）は124万人となっています。

男女別にみると，男性は63万人，女性は61万人で，男性が女性より2万人多く，女性100人に対する男性の数（人口性比）は104.2となっています。（表3）

**新成人人口は減少を続け，総人口に占める割合が初めて1%を割り込む**

新成人人口について，この推計を開始した昭和43年からの推移をみると，第1次ベビーブーム世代の昭和24年生まれの人が成人に達した45年が246万人と最も多くなった後，減少に転じ，53年には152万人となりました。その後，昭和50年代後半から再び増加傾向を続け，第2次ベビーブーム世代の人が成人に達した時に200万人台（最高は平成6年207万人）となった後，平成7年に再び減少に転じて以降は減少傾向を続けています。

**表3 新成人人口の推移（各年1月1日現在）**

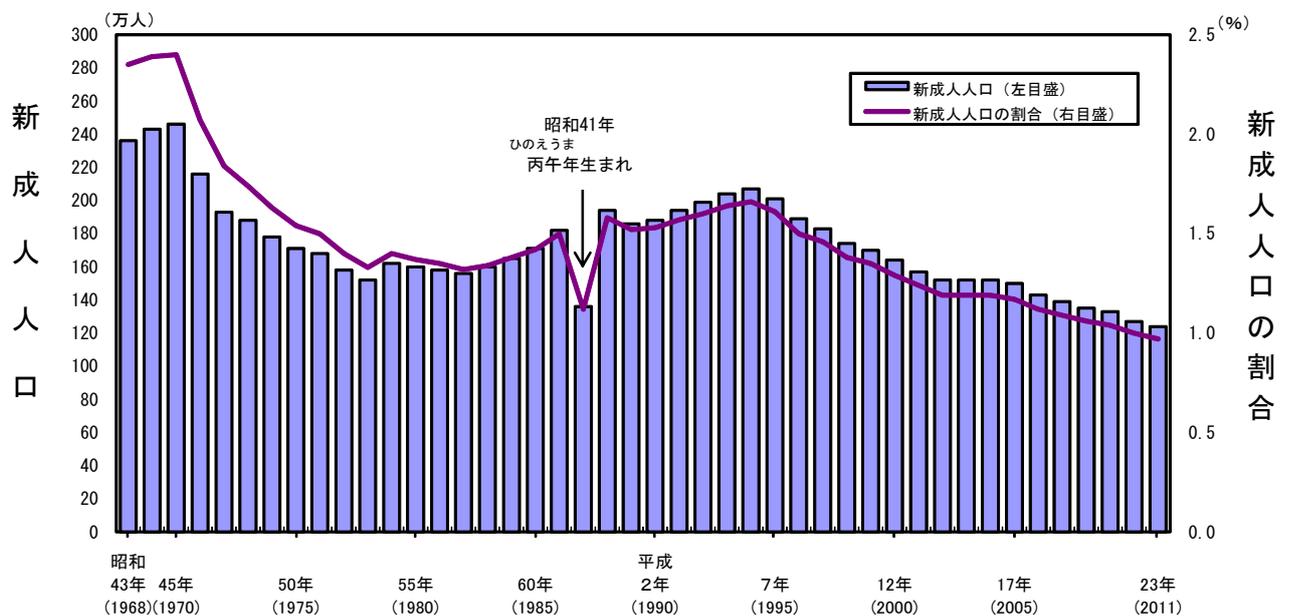
年次（西暦）	新成人人口 （万人）			総人口に 占める 割合（%）	人口性比	年次（西暦）	新成人人口 （万人）			総人口に 占める 割合（%）	人口性比
	男女計	男	女				男女計	男	女		
昭和43年（1968）	236	119	117	2.35	101.6	平成2年（1990）	188	97	92	1.53	105.5
44（1969）	243	123	121	2.39	101.9	3（1991）	194	99	94	1.57	105.4
45（1970）	246	124	123	2.40	101.0	4（1992）	199	101	97	1.60	104.2
46（1971）	216	110	106	2.07	103.9	5（1993）	204	104	99	1.64	105.0
47（1972）	193	98	96	1.84	102.0	6（1994）	207	106	101	1.66	105.0
48（1973）	188	94	94	1.74	100.8	7（1995）	201	103	98	1.61	105.6
49（1974）	178	89	89	1.63	100.6	8（1996）	189	97	92	1.50	105.3
50（1975）	171	87	84	1.54	103.6	9（1997）	183	94	89	1.46	104.7
51（1976）	168	86	83	1.50	103.7	10（1998）	174	89	85	1.38	105.0
52（1977）	158	81	77	1.40	104.5	11（1999）	170	87	83	1.35	105.2
53（1978）	152	77	75	1.33	102.8	12（2000）	164	84	80	1.29	105.4
54（1979）	162	82	80	1.40	103.3	13（2001）	157	81	77	1.24	105.3
55（1980）	160	81	78	1.37	103.9	14（2002）	152	78	74	1.19	104.7
56（1981）	158	81	78	1.35	104.3	15（2003）	152	77	74	1.19	104.7
57（1982）	156	80	76	1.32	104.5	16（2004）	152	78	74	1.19	104.7
58（1983）	160	81	78	1.34	104.2	17（2005）	150	77	73	1.17	104.9
59（1984）	165	84	81	1.38	104.3	18（2006）	143	73	70	1.12	105.0
60（1985）	171	87	83	1.42	104.8	19（2007）	139	72	67	1.09	106.4
61（1986）	182	93	89	1.50	104.2	20（2008）	135	69	66	1.06	105.2
62（1987）	136	70	66	1.12	105.7	21（2009）	133	68	65	1.04	104.9
63（1988）	194	99	95	1.58	103.9	22（2010）	127	65	62	1.00	104.7
64・平成元年（1989）	186	96	91	1.52	105.3	23（2011）	124	63	61	0.97	104.2

\* 数値は万人単位に四捨五入してあるので，内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。

平成23年は、前年から3万人減少して124万人になり、新成人が最も多かった昭和45年（246万人）のほぼ半数となっています。

なお、減少を続ける新成人人口は、4年連続して過去最低を更新しています。総人口に占める割合も低下を続けており、平成23年は0.97%と、初めて1%を割り込みました。（表3、図3）

図3 新成人人口及び総人口に占める割合の推移（各年1月1日現在）



※ 人口推計は、国勢調査による人口を基に、その後の人口動向を他の人口関連資料から得て算出している。

# インターネットで 統計がこながる

政府統計の総合窓口 e-Stat

<http://e-stat.go.jp>

e-Stat

検索

- 各府省の統計データを e-Stat から検索・閲覧・ダウンロードすることができます！
- 統計GISを活用して、主要な統計データを地図上で見られます！



- ◆ 「人口推計」の詳しい結果を御覧になる場合は、次の URL を参照ください。  
<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.htm>
- ◆ このトピックスは、次の URL から御覧になれます。  
<http://www.stat.go.jp/data/topics/index.htm>
- ◆ このトピックスに掲載されている解説文、図等の情報を引用・転載する場合には、出典の表記をお願いします。  
(例)「統計トピックス No.49」(総務省統計局)

## 【問い合わせ先】

総務省統計局 統計調査部 国勢統計課 人口推計係  
〒162-8668 東京都新宿区若松町19番1号  
担当 : 山口課長補佐, 佐藤係長  
TEL : 03 (5273) 1009  
FAX : 03 (5273) 1552  
Eメール : c-suikei@soumu.go.jp